
テイルズオブエクシリア～紡がれし思い～

青猪

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

テイルズオブエクシリア〜紡がれし思い〜

【Nコード】

N7413Y

【作者名】

青猪

【あらすじ】

事故により死んでしまった少女、楠くすのきえりん恵凜。彼女は神と出会い、リゼ・マクシアに転生してジュードの妹として育ち、ジュード共に旅に出る。

そして、恵凜はこの旅で自分自身の秘密を…過去に消された思いを知る事になる。

プロローグ…神との出会い（前書き）

初めまして、青猪です。

この小説は私が初めて書いたものなので

- ・文法が粗い。
- ・誤字がある。
- ・投稿がまちまち。
- ・等あると思います。

でもどうか、生温かい目で見守っていただけたら幸いです。
よろしく願います。

プロローグ…神との出会い

はじめまして、私の名前は楠恵凜^{くすのきえりん}。何処にでもいるフツートの女子高生（15歳）です。

突然ですが私は今日、事故で死にました。

下校途中の道で友達と別れた直後、猛スピードで2メートルトラックが私に突っ込んできたんです！

私は成す術もなくトラックに衝突され、更に後ろにあったビルの壁（コンクリート製）にトラックと一緒に突っ込み……もう散々な死に方だよ！！即死だよ！！（涙）

そして、死んだハズの私は今、何故か真っ白な空間にいます。

「……一体ここは何処ですか。」

私は呆然とした感じでそう呟いていると

「ここは次元の狭間だ。迷いし魂よ。」

「うわっ?!後ろ?!」

いきなり話し掛けられてビックリしながら振り返ると、そこには全身ローブで覆った人物が居た。

ローブのせいで顔はほとんど見えないが、声や感じからして男性で、そんなに年は離れていない。

唯一見える瞳は淡い蒼をしている。

「……あんだ誰？」

私がそう聞くと

「我はお前達人間から神と呼ばれし者。」

と男性は答えた。

（ は？何言っただこの人……フツー信じないって、そんな事。）
そんな事を考えていると

「信じろとはいわぬ。だが我は正真正銘、ここを管理する神なのだ。」

（ って、心読まれた？！……まあ、悪いひとではなさそうだし……何でこうなったか聞いてみよう。）
そう思い話そうとした瞬間、

「うむ。では何故こうなったのか答えてやろう」

（ ってまた心読まれた！）

「勝手に心を読むなー！」と言う私を無視して神様は話を続ける。

「お前は本来、死ぬハズではなかった。だが、お前の運命は何かの影響を受け狂いが生じてしまい、それが原因で死んでしまった。更にその狂いは、お前の魂を世界の理から外してしまい、ここに来てしまったのだ。」

「ふん……」

（何か二次小説によくある転生ネタだね。）

「うむ、まさにその通りだ。お前にはこれから異世界へ転生してもらおう。」

「だから勝手に心を読むなー！！って、ホントに行くんだ異世界…元の世界には戻れないの？」

「残念だが、不可能だ。その世界への道がなくなってしまったからな。」一刀両断ですか……。まあ、起こってしまった事を嘆いてもしょうがないよね。

「はあ〜っ……。わかった。早くその異世界に転生させて。」
私は溜息をもらしながら神様に言った。

「うむ、では入口を開こう。」

「うん。……。ところで私が転生する世界って何処なの？」
そう聞くと神様は

「すまないが、何処に行くかは我にも分からぬ。」
と言われてしまう。

不安にはなるけど、「考えていても仕方がない」と思い気持ちを切り替える。

神様の方を見るとちょうど入口を開け終わった所だった。

「そこに入れば異世界に転生できる。気をつけてな。」

神様は心配そうに言った

「ありがとう、神様。それじゃ、行ってきます！」

私は入口に飛び込んだ。入った直後に強烈な眠気に襲われ、自分の意識が薄れていくのを感じた。

惠凜が飛び込んだ入口を、ただジツと神である男性は見つめていた。

「あの日からもう2000年、時が経つのは早いものだ……我がやれる事はもうない。後はお前次第だ、惠凜……いや。」
神は咳く様に言い、何処かに消えていった……。

プロローグ…神との出会い（後書き）

主人公が訪れるのは、15年位前のリーゼ・マクシアです。

0話：転生、そして…（前書き）

まだプロローグの様なものです…。

すみません（汗）（m）（――）（m）

0話…転生、そして…

目を覚ますと、何処かの洞窟の入口だった。

何でこんな所にいるんだ？と思い、移動しようとしたが、何故か上手く体を動かせない。更に…

「あう、うあゝ」

言葉も話せない。

(もう！一体どうなってんのよ？！)

私はワケが分からず体を起こそうと動く。ふと視界に入る自分の手を見てピタ…と動きを止める。

そして恐る恐るもう一度、自分の手を見てみると…そこには可愛らしい赤ちゃんの手があった。

(何で私赤ちゃんになってんの？！コレって転生の影響？！というか私、このままじゃ間違いないく死んじゃうよね？！転生してすぐ死ぬなんて嫌だ！誰か助けて〜！！)

私はパニック状態に陥り泣き叫ぶ。すると泣き声を聞いて誰かが近づいてくる音がした。

「この辺りからなのだが…ツ？！赤ん坊だと！」

私を見つけた人は男性で上だけ縁のない四角い眼鏡を掛け、白衣を着ていた。どうやら医者らしい。

「材料探しのつもりがまさか赤ん坊を見つけるとは…それにして

も酷い事をする。」

男性は悲しそうに呟きながら私を抱き上げ、

「とにかくここは危ない、早く街に戻るとしよう。」男性は私を連れて来た道を戻っていった。

その後私は男性の家である治療院で幾つか検査を受けた。

何処も異常はなく、すぐに検査は終わり、今は看護師の女性に抱かれながらミルクを飲んでいる。

本当は肉とか食べたいが、今の体ではミルク以外口に出来ないのだから仕方がない。

ちなみにこの女性は男性の妻だという事、私と同じくらいの子供がいる事が二人の話から分かった。

そしてなんと、夫婦が私を家族として迎えようという事になった。

(……でも、二人には子供がいるのにいいのかな……)とも思ったが、今の私は行く宛てもなく、何も出来ない。二人の提案に有り難く甘える事にした。

こうして、私はこの二人に……マティス夫妻に引き取られ、二人の息子であるジュードと共に本当の兄妹の様に育てられた。

そして、あれから15年の歳月が過ぎた。私は今、定期船の誰もいない甲板の隅で

「うーみーはー広いーなーおおきいーなー、これかーらー向かうーはー王都ーイル・ファン」
と陽気に歌っていた。

私はこれからラ・シュガルの首都、イル・ファンへ向かっている。

理由は久しぶりにアニキ…ジュードに会うためだ。

始めジュードに会いに行く事を父さんと母さん…ディラックさんとエリンさんに言ったら

「ジュードの勉強の邪魔になるから。」

と、二人に反対されてしまう。

まあ、予想通りではあるけどね。

だから日が昇る前に必要最低限の荷物をまとめて、机の上に“アニキに会いに行つてきます”とメモを残してこっそり家を出て来たのだ。

手伝いをすっぱかし、父さん達には悪いと思ったけど、手紙のやり取りだけでは何か心配なんだよね。

「……アニキはお人よし過ぎるし、お節介だからなあ。」

だから、実際に会って本当に元気が確かめたい、久しぶりにジュードと話したいと思った。家に帰ったら説教や手伝いの量倍増が降りかかるのは確実だが、それも覚悟の上だ。

それに会って土産話をしたらすぐに帰るつもりだし。まあ、帰る前に街道にいる魔物と手合わせしたり、何かお土産を買ってくけど…。

「とにかく、早く着かないかな。」

私はウキウキしながら夜域に入った空を見上げた。

0話：転生、そして…（後書き）

次はオリキャラのプロフィールです。

オリキャラプロフィール(前書き)

タイトル通り、オリキャラのプロフィールです。

オリキャラプロフィール

名前：テスラ・マティス

性別：女性

年齢：15歳

身長：160cm

体重：謎

一人称：私

戦闘スタイル：ジュードと同じ格闘家スタイル。だが、ジュードと一部使える技が違い、投げ技が使える。

精霊術も使える。（ただし、初級のみ）

特性：カウンター：敵の攻撃をバックステップで回避した後、敵をダウンさせる攻撃を繰り返す。

サポート：追い撃ち：リンクしてる時に敵をダウンさせると、投げ技で追撃する。投げられた敵はダウンが解除される。

レベル：6

装備：武器：スチールリスト

頭：ニット

体：ラメラガード

装備：クローナシンボル（拾われた時から持っていた）

武身技：掌底破、三散華、迫撃掌、軽岩碎落撃（序盤に使える技。まだ増えません。）

精霊術：ファイアボール、ウィンドランス、ロケットライ、スプラ

ツシユ（序盤に使える精霊術。もちろん増えます。）

特徴：瞳と髪は薄いグレー。

男女どっちつかずな顔をしている。

髪は背中まで伸ばし、ポニーテールで纏めている。

霊力野がかなり発達しているが、何故か初級の術しか出来ない。

胸がレイアより小さい。

性格：明るく前向きだが、楽観的な所もあり、少しせっかち。

動物全般が好き。（魔物も含まれる）

度胸があり、何事にも果敢に立ち向かう。

歌う事が好きだが、人前では滅多に歌わない。

追記：普段は治療院の看護士の手伝いをしている。そのため、医療の知識もジュード程ではないがある。

顔等のため、よく男と勘違いされる。

髪を伸ばしたのも、男と勘違いされないようにするため。だが、あまり効果はない。

レイアより胸がない事に軽いコンプレックスを抱いている。（転生前は同じくらい）

様々なバストアップ法をやっているが、全く報われない。

歌は前いた世界の曲を歌う事が多い。そのため、他の人に極力聞かれないようにしている。（曲の説明が面倒だから）

初級の精霊術しか使えない事を本人は気にしてない。（生活に支障はないから。）

オリキャラプロフィール（後書き）

今後の展開でプロフィールの追加、または変更があると思います。
次からやっとなジュード君出ます。ミラは……ちょっとだけ（汗）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7413y/>

テイルズオブエクシリア～紡がれし思い～

2011年11月22日03時58分発行